

ニちら特報部



上 ザボロジエ原発を巡る国連
安全保障理事会の会合で発言するグテレス事務総長
6日、米ニューヨークで
(ゲッティ・共同)

下 富山、石川、福井の3県警と
陸上自衛隊によるテロ対策
訓練で大飯原発構内に入る
装備機動車=2019年12月、福井県おおい町で

それでも日本は 再稼働・新增設？



新たな「標的」増 リスクしかない

守るかは議論されていない（前出の松久保氏）。原発がミサイル攻撃を受けた場合について、原子力

が、突如方針を転換した形だ。しかし、ザボロジエ原発のようないくつかの危機をも想定した上での方針転換だったかは疑わしい。

そもそも、原発や使用済み核燃料再処理工場などは武力攻撃を想定した設計になつてない。国は、原子力事業者に対し、航空機落下など「テロ攻撃」を想定した「特定重大事故等対処施設（特重施設）」の整備を求めていたが、「ザボロジエ原発のよつた砲撃や武力による占拠などからどう

規制委員会の更田豊志委員長は「現在の設備で避けられるとは考えていない」と明言。一方で武力攻撃への対策は「想定していない」と述べただけだった。

岸田政権はウクライナ危機や東アジアの緊張の高まりを口実に防衛費の倍増を表明しているものの、新たな原発の危険性には向き合おうとしている。一九八四年に外務省がシンクタンクに原発が攻撃を受けた際の被害想定を報告書にまとまつた議論の形跡もある。

英軍事情報誌の東京特派員で国際ジャーナリストの高橋浩祐氏は「ロシアは、『ウクライナが核開発をしている』というでたらめな理由でザボロジエ原発を圧した。思いも寄らない理由で、日本の原発が狙われるリスクは十分にある」と指摘する。

どんな事態がありうるのか。高橋氏は、サイバー攻

撃のリスクを第一に挙げ、規制委員会の更田豊志委員長は「現在の設備で避けられるとは考えていない」と明言。一方で武力攻撃への対策は「想定していない」と述べただけだった。

岸田政権はウクライナ危機や東アジアの緊張の高まりを口実に防衛費の倍増を表明しているものの、新たな原発の危険性には向き合おうとしている。一九八四年に外務省がシンクタンクに原発が攻撃を受けた際の被害想定を報告書にまとまつた議論の形跡もある。

英軍事情報誌の東京特派員で国際ジャーナリストの高橋浩祐氏は「ロシアは、『ウクライナが核開発をしている』というでたらめな理由でザボロジエ原発を圧した。思いも寄らない理由で、日本の原発が狙われるリスクは十分にある」と指摘する。

岸田政権はウクライナ危機や東アジアの緊張の高まりを口実に防衛費の倍増を表明しているものの、新たな原発の危険性には向き合おうとしている。一九八四年に外務省がシンクタンクに原発が攻撃を受けた際の被害想定を報告書にまとまつた議論の形跡もある。

岸田政権はウクライナ危機や東アジアの緊張の高まりを口実に防衛費の倍増を表明しているものの、新たな原発の危険性には向き合おうとしている。一九八四年に外務省がシンクタンクに原発が攻撃を受けた際の被害想定を報告書にまとまつた議論の形跡もある。

岸田政権はウクライナ危機や東アジアの緊張の高まりを口実に防衛費の倍増を表明しているものの、新たな原発の危険性には向き合おうとしている。一九八四年に外務省がシンクタンクに原発が攻撃を受けた際の被害想定を報告書にまとまつた議論の形跡もある。

岸田政権はウクライナ危機や東アジアの緊張の高まりを口実に防衛費の倍増を表明しているものの、新たな原発の危険性には向き合おうとしている。一九八四年に外務省がシンクタンクに原発が攻撃を受けた際の被害想定を報告書にまとまつた議論の形跡もある。

武力攻撃「想定していない」

IRIS/MEI

原発に砲撃などといふことは、東日本大震災の津波以上に「想定外」だ。原発を新設すれば、新しい攻撃の標的をつくることになり、中長期的にはリスクしかない」と警鐘を鳴らす。

東京女子大の廣瀬弘忠名誉教授（災害リスク学）も「原発のテロ対策でさえ、実な対応だと批判する。福島事故を経験した日本での新增設は許されないとだが、あまりに拙速で不誠実な対応だ」と批判する。

福島事故を経験した日本での新增設は許されないとだが、あまりに拙速で不誠実な対応だ」と批判する。

福島事故を経験した日本での新增設は許されないとだが、あまりに拙速で不誠実な対応だ」と批判する。

福島事故を経験した日本での新增設は許されないとだが、あまりに拙速で不誠実な対応だ」と批判する。

福島事故を経験した日本での新增設は許されないとだが、あまりに拙速で不誠実な対応だ」と批判する。